

第 1 回 館 山 市 議 会 定 例 会 会 議 録
(第 5 号)

1 平成9年3月24日（月曜日）午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 25名

1番 辻 田 実
3番 三 上 英 男
5番 忍 足 利 彦
7番 斉 藤 実
9番 島 田 保
11番 秋 山 光 章
13番 脇 田 安 保
15番 山 崎 雅 己
17番 岩 村 勝 弘
19番 川 名 正 二
21番 山 中 金治郎
23番 石 井 昌 治
25番 飯 田 義 男

2番 本 橋 亮 一
4番 小 幡 一 宏
6番 鈴 木 順 子
8番 増 田 基 彦
10番 宮 沢 治 海
12番 植 木 馨
14番 永 井 龍 平
16番 鈴 木 忠 夫
18番 日 下 君 敏
20番 神 田 守 隆
22番 榎 本 春 光
24番 福 原 勤

1 欠席議員 なし

1 出席説明員

市 長 庄 司 厚
収 入 役 永 野 修
総 務 部 長 鈴 木 完 二
経 済 環 境 部 長 小 沼 晃
水 道 課 長 谷 貝 実
教 育 委 員 会 長 高 橋 博 夫
教 育 長
選 挙 管 理 委 員 会 事 務 局 書 記 長 大 山 了 一
監 査 事 務 局 長 安 西 一 夫
農 業 委 員 会 長 木 高 松 雄
事 務 局 長

助 役 小 幡 清 之
企 画 部 長 寺 嶋 清
市 民 福 祉 部 長 渡 辺 富 雄
建 設 部 長 鈴 木 信 一
教 育 委 員 会 長 伊 藤 昌 彦
選 挙 管 理 委 員 会 長 加 藤 利
監 査 委 員 山 田 教 和
農 業 委 員 会 長 斉 藤 明

1 出席事務局職員

事 務 局 長 兵 藤 恭 一

事 務 局 長 補 佐 鈴 木 哲

書 記 四ノ宮 朗
書 記 鈴木 達也

書 記 島 本 一 樹
書 記 松 浮 郁 夏

1 議事日程（第5号）

平成9年3月24日午前10時開議

- 日程第1 { 議案第 9号 館山市畑地区に係る公共的施設の総合整備計画を定めることについて
議案第10号 館山市行政手続条例の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
議案第11号 館山市職員給与条例の一部を改正する条例の制定について
議案第12号 館山市行政財産使用料条例の一部を改正する条例の制定について
議案第31号 平成8年度館山市一般会計補正予算（第7号）
- 日程第2 議案第13号 財産の取得について
- 日程第3 { 議案第14号 館山市公民館条例の一部を改正する条例の制定について
議案第15号 館山市学習等供用施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第16号 館山市社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第17号 館山市児童遊園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第18号 館山市身体障害者ホームヘルプサービス事業に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第19号 館山市老人ホームヘルプサービス事業に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第20号 館山市民センター条例の一部を改正する条例の制定について
議案第21号 館山市勤労青少年ホームの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第32号 平成8年度館山市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
議案第33号 平成8年度館山市老人保健特別会計補正予算（第2号）
議案第22号 館山市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第23号 館山市土砂等による土地の埋立て、盛土及びたい積行為の規制に関する条例の一部を改正する条例の制定について

- 日程第4 { 議案第24号 館山市漁港管理条例の一部を改正する条例の制定について
議案第25号 館山市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について
議案第26号 館山市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について
議案第27号 館山市下水道条例の制定について
議案第28号 館山市都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の制定について
議案第29号 館山市国民宿舎利用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
議案第30号 市道路線の認定及び廃止について
議案第34号 平成8年度館山市下水道事業特別会計補正予算（第4号）
議案第35号 平成8年度館山市水道事業特別会計補正予算（第3号）

日程第5 継続審査について

- 日程第6 { 議案第1号 平成9年度館山市一般会計予算
議案第2号 平成9年度館山市国民健康保険特別会計予算
議案第3号 平成9年度館山市老人保健特別会計予算
議案第4号 平成9年度館山市ユースホステル特別会計予算
議案第5号 平成9年度館山市学童災害共済事業特別会計予算
議案第6号 平成9年度館山市下水道事業特別会計予算
議案第7号 平成9年度館山市水道事業特別会計予算
議案第8号 平成9年度館山市国民宿舎事業特別会計予算

日程第7 議案第36号 人権擁護委員候補者の推薦について

日程第8 発議案第1号 地震等自然災害に対する新たな被災者支援措置の創設を求める意見書について

日程第9 館山市選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙

開 議 午前10時14分

◎議長（山中金治郎君） 本日の出席議員数25名、これより第1回市議会定例会第5日目の会議を開きます。

議案の配付

◎議長（山中金治郎君） 議案を配付いたさせます。

配付漏れありませんか。 — 配付漏れなしと認めます。

本日の会議は、お手元に配付の日程表により行います。

議案の上程

◎議長（山中金治郎君） 日程第1、議案第9号乃至議案第12号及び議案第31号の各議案を一括して議題といたします。

総務委員会委員長報告

◎議長（山中金治郎君） ただいま議題となりました各議案は、3月12日の本会議において総務委員会に付託されたものであります。

よって、これより総務委員会における審査の経過並びに結果につき、委員長の報告を求めます。

総務委員会委員長日下君敏さん。御登壇願います。

（総務委員会委員長日下君敏君登壇）

◎総務委員会委員長（日下君敏君） ただいま議題となりました議案第9号乃至議案第12号及び議案第31号にかかわる総務委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

去る3月12日の本会議におきまして本委員会に付託されました各議案につきまして、17日委員会を招集し、審査を行いました。

以下、その質疑応答等、主なものについて申し上げます。

まず、議案第9号館山市畑地区に係る公共的施設の総合整備計画を定めることについてでございますが、これは畑地区が辺地に編入されたということに基づいて行われるものでございます。

この辺地の要件について説明を求めましたところ、その地域を含み、5平方キロメートル以内で人口が50人以上であり、辺地度の点数が100点以上の地域が対象となるとの説明がありました。

さらに、畑地区へ通ずる道路の改良を要望いたしますとともに、財政上の特別措置及び防災行政無線拡声子局についても説明を求めましたところでございます。

また、実際に畑地区民が生活する上から、隣接している白浜町、千倉町に通ずる道路整備についても検討が必要でございますので、今後各自治体と協議していくことについても要望いたしました次第でございます。

次に、議案第11号館山市職員給与条例の一部を改正する条例の制定についてであります。事前の協議を職員組合となぜしなかったのかとの質疑に対しまして、昭和40年代後半から事実上行ってきておるものでありますから、職員組合からはこの制度について変更の要望はなく、実質的に勤務条件の変更はないということで、職員組合との協議は持たなかったとの説明がありました。

討論において、条例化するということは勤務条件の変更であり、一方的に行うのは問題である。反省を求めるとの反対意見がございました。

次に、議案第12号館山市行政財産使用料条例の一部を改正する条例の制定についてであります

が、討論におきまして、使用料への消費税転嫁をしない市町村がかなりある中で、市民の期待に応えていくという意味から、今回の改正は市の姿勢として承服できないとの反対意見がありました。

次に、議案第31号平成8年度館山市一般会計補正予算（第7号）についてであります。土木費における市道8042号線の大幅な減額補正について説明を求めましたところ、平成8年度から補助金配分の見直しが大幅に行われ、当初通常補助を予測していたんであります。国家的プロジェクト等に重点的配分をするということで、緊急地方道の補助に変更されたために減額になったとの説明がありました。

さらに、工業団地進入路に関し、地区民の意向や教育委員会の指導等、現在の状況について説明を求めたところでございます。

採決の結果、付託を受けました議案第9号、議案第10号及び議案第31号については全員一致をもって、また議案第11号及び議案第12号については賛成多数をもって、いずれも原案どおり可決すべきものと決しました。

以上御報告申し上げまして、総務委員会委員長報告を終わります。

◎議長（山中金治郎君） 以上で委員長の報告を終わります。

質 疑 応 答

◎議長（山中金治郎君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終わります。

討 論

◎議長（山中金治郎君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論はありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終わります。

採 決

◎議長（山中金治郎君） これより採決いたします。

まず、議案第9号及び議案第10号について、一括して採決いたします。

各議案についての委員長の報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（山中金治郎君） 御異議なしと認めます。よって、各議案は原案どおり可決されました。

次に、議案第11号について、起立により採決をいたします。

本案についての委員長の報告は原案可決であります。

本案を委員長の報告どおり可決することに賛成の皆さんの起立を求めます。

(賛成者起立)

◎議長(山中金治郎君) 起立多数であります。よって、本案は原案どおり可決されました。

次に、議案第12号について、起立により採決をいたします。

本案についての委員長の報告は原案可決であります。

本案を委員長の報告どおり可決することに賛成の皆さんの起立を求めます。

(賛成者起立)

◎議長(山中金治郎君) 起立多数であります。よって、本案は原案どおり可決されました。

次に、議案第31号について採決いたします。

本案についての委員長の報告は原案可決であります。

本案を委員長の報告どおり可決することに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(山中金治郎君) 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

議案の上程

◎議長(山中金治郎君) 日程第2、議案第13号財産の取得についてを議題といたします。

本案は、地方自治法第117条の規定により、土地開発公社の理事、監事であります宮沢治海さん、脇田安保さん、鈴木忠夫さん、日下君敏さん、石井昌治さん、川名正二さんの退席を求めます。

(10番議員宮沢治海君退場)

(13番議員脇田安保君退場)

(16番議員鈴木忠夫君退場)

(18番議員日下君敏君退場)

(19番議員川名正二君退場)

(23番議員石井昌治君退場)

総務委員会委員長報告

◎議長(山中金治郎君) 本案は、3月12日の本会議において総務委員会に付託されたものであります。

よって、これより総務委員会における審査の経過並びに結果につき、委員長の報告を求めます。

総務委員会副委員長神田守隆さん。御登壇願います。

(総務委員会副委員長神田守隆君登壇)

◎総務委員会副委員長(神田守隆君) 委員長が除斥しておりますので、副委員長の私がかわりまして御報告いたします。

ただいま議題となりました議案第13号財産の取得について、総務委員会における審査の概要について御報告いたします。

本案については、日下委員長、脇田委員及び川名委員の除斥のもとに審査を行いました。

まず、用地取得について、現在の価格で今後も行うのか、また今後取得費としてどの程度を必要とするのか、用地買収がなかなか進まない理由は何かについて説明を求めたところ、価格については現在の価格で進めていきたい。今後の取得費については、現在の推定ではおおむね10億円程度が必要と考えている。また、取得が難航しているのは、相続関係や税法上の問題が主な理由であるとの説明がありました。

次に、事業化について、用地買収の完了を待つのではなく、スポーツゾーンなどできるところから計画を進められないかとの質疑に対し、スポーツゾーンの整備ということで、運動公園の拡充を県に要望し、用地取得と並行して計画実現に向けた作業を行っている。また、この計画は企業参加が重要なポイントであり、新年度事業化に向けて検討委員会を設置するとの説明がありました。

次に、この事業については公共分野と民間分野があり、一緒に論議することは難しいし、民間分野の責任と負担について、公共分野である市が肩がわりすべきではなく、けじめをはっきりさせるべきとの意見がありました。

さらに、討論において、企業誘致をして、この土地を民間企業に対し市で無償貸与するというようなことになりかねず、現段階では賛成できないという反対意見と、市としては観光拠点の核をつくるのが急務であり、速やかにこの作業を進めてもらいたいとする賛成意見とがありました。

採決の結果、付託を受けました議案第13号につきましては、賛成多数をもって原案どおり可決すべきものと決しました。

以上御報告申し上げまして、総務委員会委員長報告を終わります。

◎議長(山中金治郎君) 以上で委員長の報告を終わります。

質 疑 応 答

◎議長(山中金治郎君) ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。――御質疑なしと認めます。よって、質疑を終わります。

討 論

◎議長（山中金治郎君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論ありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終わります。

採 決

◎議長（山中金治郎君） これより採決いたします。

採決は起立により行います。

本案についての委員長の報告は原案可決であります。

本案を委員長の報告どおり可決することに賛成の皆さんの起立を求めます。

（賛成者起立）

◎議長（山中金治郎君） 起立多数であります。よって、本案は原案どおり可決されました。

（10番議員宮沢治海君入場）

（13番議員脇田安保君入場）

（16番議員鈴木忠夫君入場）

（18番議員日下君敏君入場）

（19番議員川名正二君入場）

（23番議員石井昌治君入場）

議案の上程

◎議長（山中金治郎君） 日程第3、議案第14号乃至議案第21号、議案第32号及び議案第33号の各議案を一括して議題といたします。

文教民生委員会委員長報告

◎議長（山中金治郎君） ただいま議題となりました各議案は、3月12日の本会議におきまして文教民生委員会に付託されたものであります。

よって、これより文教民生委員会における審査の経過並びに結果につき、委員長の報告を求めます。

文教民生委員会委員長宮沢治海さん。御登壇願います。

（文教民生委員会委員長宮沢治海君登壇）

◎文教民生委員会委員長（宮沢治海君） ただいま議題となりました議案第14号乃至議案第21号、

議案第32号及び議案第33号にかかわる文教民生委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

去る12日の本会議において本委員会に付託されました各議案につきまして、17日委員会を招集し、慎重に審査を行いました。

以下、委員会における質疑応答等、主なものについて申し上げます。

まず、議案第14号館山市公民館条例の一部を改正する条例の制定について、議案第15号館山市学習等供用施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について、及び議案第21号館山市勤労青少年ホームの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についてであります。各議案とも消費税改正に伴う使用料等の改正であり、既に本会議においても論議されているところであります。本委員会においても審査に当たって市の考え方をただしたところ、各施設にかかわる使用料の消費税について、市は納税義務はないが、負担の公平を求める見地から転嫁するのが適切と考えている。施設の利用については、それぞれの条例、規則の中で減免、免除の措置もとられている旨の答弁がありました。

討論において、税自体が不公平と言われている中で、県内全市で実施されているわけでもない消費税の転嫁を館山市が率先して行うべきではないとの意見がありました。

次に、議案第16号館山市社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についてであります。市営50メートルプール合宿所の廃止に関連して、50メートルプールに夜間照明を検討するなどして利用の拡大を図る考えはないかとの質疑に対し、夜間照明については検討していないが、現在管理棟の改修を行っている中でトイレ、脱衣所等が整備され、十分に利用者の便宜が図れると考えているとの説明がありました。

次に、議案第17号館山市児童遊園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についてであります。南条児童遊園の設置のほか、一部既設の児童遊園の位置の改正がされていることについてただしましたところ、条例制定時、事前申請をしていた地番が違っていたため、今回改正するものであるとの説明がありましたが、長い時間を経過していること、また行政の事務として初歩的な問題であり、今後万全を期されるよう要望いたしました。

次に、議案第18号館山市身体障害者ホームヘルプサービス事業に関する条例の一部を改正する条例の制定について、議案第19号館山市老人ホームヘルプサービス事業に関する条例の一部を改正する条例の制定についてであります。主な改正の内容については、利用者世帯のG階層の1時間当たり費用負担額の改正であります。本年2月における両事業の対象人数については142人であり、さらにそれぞれの各階層における内訳が示されました。

次に、議案第20号館山市民センター条例の一部を改正する条例の制定についてであります。今回配食サービス事業の事務所、またボランティア活動の拠点として利用するため廃止となる中

和室及び小和室の具体的な利用方法について説明を求めました。

次に、議案第32号平成8年度館山市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）であります、歳入における共同事業交付金について説明を求めましたところ、国保連合会で事務を行っている事業で、1件80万円以上の医療費に関して、80万円を超えた額に10分の6を乗じた額を交付対象とし、その80％が交付されるもので、財源は各市町村が拠出しているとの説明がありました。

以上が主な質疑応答であります、採決の結果、付託を受けました議案第17号乃至議案第19号、議案第32号及び議案第33号の各議案については全員一致をもって、議案第14号乃至議案第16号、議案第20号及び議案第21号の各議案については賛成多数をもって、原案どおり可決すべきものと決しました。

以上御報告申し上げ、文教民生委員会委員長報告を終わります。

◎議長（山中金治郎君） 以上で委員長の報告を終わります。

質 疑 応 答

◎議長（山中金治郎君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終わります。

討 論

◎議長（山中金治郎君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論はありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終わります。

採 決

◎議長（山中金治郎君） これより採決いたします。

まず、議案第14号乃至議案第16号について、一括して起立により採決をいたします。

各議案についての委員長の報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに賛成の皆さんの起立を求めます。

（賛成者起立）

◎議長（山中金治郎君） 起立多数であります。よって、各議案は原案どおり可決されました。

次に、議案第17号について採決いたします。

本案についての委員長の報告は原案可決であります。

本案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（山中金治郎君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

次に、議案第18号及び議案第19号について、一括して起立により採決いたします。

各議案についての委員長の報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに賛成の皆さんの起立を求めます。

（賛成者起立）

◎議長（山中金治郎君） 起立多数であります。よって、各議案は原案どおり可決されました。

次に、議案第20号及び議案第21号について、一括して起立により採決いたします。

各議案についての委員長の報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに賛成の皆さんの起立を求めます。

（賛成者起立）

◎議長（山中金治郎君） 起立多数であります。よって、各議案は原案どおり可決されました。

次に、議案第32号及び議案第33号について、一括して採決いたします。

各議案についての委員長の報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（山中金治郎君） 御異議なしと認めます。よって、各議案は原案どおり可決されました。

議案の上程

◎議長（山中金治郎君） 日程第4、議案第22号乃至議案第30号、議案第34号及び議案第35号の各議案を一括して議題といたします。

建設経済委員会委員長報告

◎議長（山中金治郎君） ただいま議題となりました各議案は、3月12日の本会議において建設経済委員会に付託されたものであります。

よって、これより建設経済委員会における審査の経過並びに結果につき、委員長の報告を求めます。

建設経済委員会委員長島田 保さん。御登壇願います。

（建設経済委員会委員長島田 保君登壇）

◎建設経済委員会委員長（島田 保君） ただいま議題となりました議案第22号乃至議案第30号、議案第34号及び議案第35号に係る建設経済委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

去る3月12日の本会議におきまして本委員会に付託されました各議案につきまして、14日委員

会を招集し、審査を行いました。

以下、その質疑応答等、主なものについて申し上げます。

議案第23号館山市土砂等による土地の埋立て、盛土及びたい積行為の規制に関する条例の一部を改正する条例の制定についてであります。第3条第2項中、事業区域が2以上にまたがり、近隣する土地とあるが、近隣とはどの程度なのかとの質問に対しまして、約50メートル以内が対象となるとの回答がありました。

次に、第17条の停止命令において、原状回復措置を講ずることができることとあるが、事業主に原状回復する能力があるかわかるのかとの質疑に対しましては、大規模な埋め立てに対しては、事業主の資金計画あるいは預金残高証明書等を添付させることを考えているとの説明がありました。

また、第19条の検査について、君津市が採用している簡易検査をどう考えるかとの質疑に対しまして、君津市では、土壤に穴をあけ、検知管による検査をし、反応が出た時点で分析検査を義務づけており、市においても検討していかなければならないと考えているとの答弁がありました。

議案第26号館山市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定についてであります。南房総広域水道における市の責任水量についての質疑応答の後、館野、九重地区の加入状況について説明を求めたところ、昨年10月の給水開始時は非常に少なかったが、11月の第1回検針時は331件、2月末では535件と、徐々にふえてきているとの説明がありました。

水質対策について説明を求めたところ、既に塩素の注入方法を変更しているが、平成9年度においてはより正確な濁度計の購入を予定している。また、高度浄水処理に対しましては、経費的な問題があり、現段階では老朽管の更新等が最優先事業となっているとの説明がありました。

今後とも安全でおいしい水の供給に努力されたいとの要望がありました。

議案第27号館山市下水道条例の制定についてであります。市として排水設備等の工事費に対する援助をするのかとの質問に対しましては、水洗便所改造資金助成を行い、くみ取り便所改造と浄化槽からの切りかえに係る工事には補助金を、また市長が指定する銀行から融資を受けた場合は3年間の利子補給制度を考えているとの説明がありました。

議案第28号館山市都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の制定についてであります。まず受益者負担金についての説明を求めたところ、第1期事業に係る末端管渠事業費から公共用地の事業費を差し引いたものを公共用地分を除いた受益面積で除したものであるが、1平方メートル当たり1,961円となり、住民の負担軽減を図るため、全国の5万人前後の都市の状況及び県内市町村の平均負担率を考慮した結果、負担率を3分の1とし、1平方メートル当たり650円をもって下水道審議会に諮問したところ、1平方メートル当たり600円の答申があり、今回上程したとの説明がありました。

次に、受益者負担金の納付方法について説明を求めたところ、負担の軽減を図るため、1年を

4 期に分け、5 年間で20回の分割を考えている。また、一括納付した場合の優遇措置として、最高20%の報奨金制度を考えているとの説明がありました。

採決の結果、付託を受けました議案第22号乃至議案第25号、議案第27号、議案第28号、議案第30号、議案第34号及び議案第35号については全員一致、議案第26号及び議案第29号については賛成多数をもって、いずれも原案どおり可決すべきものと決しました。

以上御報告申し上げまして、建設経済委員会委員長報告を終わります。

◎議長（山中金治郎君） 以上で委員長の報告を終わります。

質 疑 応 答

◎議長（山中金治郎君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終わります。

討 論

◎議長（山中金治郎君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論ありませんか。

3 番。

◎3 番（三上英男君） 議案第23号について、賛成の立場で意見を申し述べさせていただきます。

今回の改正案では、上位法を含めての適用、罰則の強化、事前協議の制定など、可とすべきであります。しかし、適用面など懸念材料も多少ありますので、二、三要望しておきます。

さきの通告でも述べましたように、残土の中にしゅんせつ土砂の文言が入ったこと、せっかくの事前協議も 1,000平方メートル未満は除外になっていること、上位法に対しての市長の権限などであります。規制を強化するためにあるならば、適用の面で十分な対応が必要ではないかと思えます。今後、県の条例制定を待って再度検討されることを希望して、終わります。

◎議長（山中金治郎君） 他にございませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終わります。

採 決

◎議長（山中金治郎君） これより採決いたします。

まず、議案第22号について、起立により採決いたします。

本案についての委員長の報告は原案可決であります。

本案を委員長の報告どおり可決することに賛成の皆さんの起立を求めます。

（賛成者起立）

◎議長（山中金治郎君） 起立多数であります。よって、本案は原案どおり可決されました。

次に、議案第23号及び議案第24号について、一括して採決いたします。

各議案についての委員長の報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（山中金治郎君） 御異議なしと認めます。よって、各議案は原案どおり可決されました。

次に、議案第25号及び議案第26号について、一括して起立により採決いたします。

各議案についての委員長の報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに賛成の皆さんの起立を求めます。

（賛成者起立）

◎議長（山中金治郎君） 起立多数であります。よって、各議案は原案どおり可決されました。

次に、議案第27号及び議案第28号について、一括して採決いたします。

各議案についての委員長の報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（山中金治郎君） 御異議なしと認めます。よって、各議案は原案どおり可決されました。

次に、議案第29号について、起立により採決いたします。

本案についての委員長の報告は原案可決であります。

本案を委員長の報告どおり可決することに賛成の皆さんの起立を求めます。

（賛成者起立）

◎議長（山中金治郎君） 起立多数であります。よって、本案は原案どおり可決されました。

次に、議案第30号、議案第34号及び議案第35号について、一括して採決いたします。

各議案についての委員長の報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（山中金治郎君） 御異議なしと認めます。よって、各議案は原案どおり可決されました。

継続審査について

◎議長（山中金治郎君） 日程第5、請願の継続審査についてお諮りいたします。

文教民生委員会に付託中の請願第7号稲村城跡保存に関する請願書について、委員長から、慎重審査の必要上、会議規則第104条の規定により、閉会中の継続審査とされたいとの申し出がありました。本請願を、委員長の申し出のとおり、閉会中の継続審査とすることに御異議ありませんか。

んか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(山中金治郎君) 御異議なしと認めます。よって、本請願は閉会中の継続審査とすることに決しました。

議長の報告

◎議長(山中金治郎君) なお、この際申し上げます。

各常任委員会における陳情審査結果が報告されております。お手元に配付の印刷書により御了承願います。

議案の上程

◎議長(山中金治郎君) 日程第6、議案第1号乃至議案第8号、平成9年度各会計予算を一括して議題といたします。

予算審査特別委員会委員長報告

◎議長(山中金治郎君) ただいま議題となりました各会計予算は、3月13日の本会議において予算審査特別委員会に付託されたものであります。

よって、これより予算審査特別委員会における審査の経過並びに結果につき、委員長の報告を求めます。

予算審査特別委員会委員長宮沢治海さん。御登壇願います。

(予算審査特別委員会委員長宮沢治海君登壇)

◎予算審査特別委員会委員長(宮沢治海君) ただいま議題となりました議案第1号乃至議案第8号、平成9年度館山市一般会計並びに特別会計予算に係る予算審査特別委員会におきます審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

去る3月13日の本会議におきまして本委員会に付託されました各予算につきまして、18日委員会を招集し、慎重に審査を行いました。

以下、委員会におきます質疑応答等、整理いたしまして、その概要を御報告申し上げます。

まず、一般会計歳出であります。第2款総務費であります。行政改革懇談会の活動状況について説明を求めましたところ、平成8年度1回開催、9年度は3回の開催を予定している。行政改革は突発的な活動ではなく、委員の意見を踏まえ、機構改革等を積み上げてきている。さらに、市民の意見を聞く等、適切に行っているとの説明がありました。

委員より、専門の大学教授等を構成員に加え、外部の意見を取り入れるなど、検討が必要であ

るとの意見がありました。

次に、石ノ森章太郎展委託料の内容について説明を求めましたところ、ウエルネスリゾートパーク計画を推進する中で、プレイベントとして計画している。具体的なことはこれからマンガジャパンと協議していくが、石ノ森章太郎の作品に登場しているキャラクターを中心に、コンピュータグラフィックを駆使したアニメ、16面マルチビジョン、巨大ロボット等を使って漫画のイメージ定着を図るため、いろいろな計画をしているとの説明がありました。

次に、防災対策に関して、当市は他の市町村と災害応援協定を結んでいるかとの質問に対し、一自治体との相互関係はない。災害発生の場合の相互協力については、安房地域としての考え方は、全県的な立場で応援するということで、県に強力に要請し、全県的な網が張られているとの説明がありました。

なお、防災行政無線の利用拡大を要望する意見がありました。

次に、第3款民生費であります。福祉タクシー利用助成金及び利用協力金の内容について説明を求めましたところ、助成金については、身体障害者等の社会参加の促進を図るために、1回の乗車について初乗り料金 600円を助成するもので、7年度実人員で 131名が利用した。1人年間利用券24枚を交付している。利用協力金は、市内のタクシー会社に、乗車した場合の介添え等協力に対し、1人1件 300円を市が支払っているとの説明がありました。

次、高齢者働く会について、現在の活動状況等について説明を求めましたところ、会員数は2月末現在で86名、月平均の売り上げは90万円から 100万円程度、就労人数は月延べ人員 280人から 300人であるとの説明がありました。

なお、市独自の冊子やパンフレットを作成したり、新聞広告をするなど、積極的なPRにより会員の確保に努め、シルバー人材センターへの移行を要望するとの意見がありました。

次に、第4款衛生費であります。船形地区生活排水処理施設基本調査委託料について説明を求めたところ、主な委託内容は宇田川、どんどん川の基本調査であり、水質水量調査、汚濁負荷調査、地質調査、基本設計、基本設計図の作成、周辺の環境アセスなどが主な委託内容であるとの説明がありました。

次に、ペットボトルの回収について、市はどう対応していくのか説明を求めましたところ、平成9年度から容器包装リサイクル法が施行され、紙パックは月1回収集する。ペットボトルについては、紙パックの回収状況等を見て、今後収集計画の中で検討していきたいとの説明がありました。

次に、第6款農林水産業費であります。水田転作について、推進状況の説明を求めましたところ、農家の協力を得て進めているが、8年度は94.6%と予想している。現在微調整の段階であり、達成は無理と思うとの説明がありました。

さらに、達成できない場合、補助金等に影響はないかについて、新食糧法の施行について、国はペナルティーは科さないと言っているが、ライスセンターの建設等に多少は影響が出ることも予想されるので、9年度においては目標達成に努めたいとの説明がありました。

なお、市の農政のあり方について、生産団体等の意見を十分に聞き、時代の流れを見据えた取り組みを要望するとの意見がありました。

次に、第7款商工費であります、商店街共同施設整備事業補助金について説明を求めましたところ、街路灯の設置事業で、平成7年度から3カ年継続事業として実施している。場所は千葉銀行館山支店から島原踏切の間で、経費については、県と市で2分の1、地元で2分の1を負担しているとの説明がありましたが、デザイン等についてさらに検討されたいとの意見がありました。

次に、観光振興について、東京湾横断道路が開通し、当市を訪れる観光客のため、案内看板、標識等を主要な道路、交差点などに設置する必要があると思うがどうかとの質問に対し、安全で快適な観光を楽しむためにも、観光案内サインの整備は必要なことと考えている。道路管理者や事業者等が設置しているものがあるが、現在県において観光案内サインシステムのガイドラインを作成中である。その内容を確認して、館山らしいものを検討していきたいとの説明がありました。

この12月には東京湾横断道路が開通する。せっかくの観光客を館山を素通りさせないためにも、早急な整備を要望するとの意見がありました。

次に、第8款土木費であります、館山駅橋上駅舎建設工事の内容について説明を求めましたところ、現在詳細設計を行っており、JRの駅舎と市が運営管理する部分がある。さらに、東西口を結ぶ自由通路、公共施設の内容については、観光案内所、地場製品の展示施設についても検討しているとの説明がありました。

さらに、物産会館建設の要望もあるが、駅に展示販売施設ができると、これとどう整合させていくかについて説明を求めましたところ、行政、商工会議所等で研究的な組織をつくり、検討していきたいとの説明がありました。

次に、第9款消防費であります、消防団員の獲得が難しい現状の中で、消防団を統合してはどうかとの質疑に対し、これまでに団の統合を行ってきた。指摘のとおり、消防団員の獲得は難しく、団員が高齢化しているが、現在のところほぼ定足数に達しており、現段階では統合は考えていないとの説明がありました。

委員から、将来の問題として、実態に応じて団の統合等を検討されたいとの意見がありました。

次に、第10款教育費であります、社会教育費中、文化ホール使用補助金に関連して、文化ホールの利用をどのように考えるか説明を求めたところ、すぐれた芸術文化活動の鑑賞の場の提供、

地域文化団体等の活動拠点としたいとの説明がありました。

委員から、市が中心となって各種の計画をするなど、文化振興の努力が必要であるとの意見がありました。

また、多目的運動広場整備工事請負費について、9年度は散水設備と排水整備工事を予定しており、更衣室等の整備については今後検討していきたいとの回答がありました。

次に、第12款公債費についてであります。一般会計歳出における公債費の構成比が10.8%となっているが、財政の硬直化が懸念されるがどうかとの質疑に対して、財政硬直化の指標として経常収支比率の上昇が考えられるが、市においても人件費及び地方債償還額が年々上がってきているので、それらの動向を踏まえ、健全財政の維持に努めていきたいとの答弁がありました。

次に、歳入であります。固定資産税に関連して、市内にかなりの遊休地があると思うが、遊休地の評価を上げることにより、収入増及び土地の有効活用が図れるのではないかと意見に対して、平成6年度の固定資産税評価替えの際、雑種地についても見直しが行われ、評価の適正化を図ったところであるが、土地活用の面においてもこの税制度は有効であったものとの説明がありました。

次に、競輪事業収入が存目計上となっていることについて説明を求めましたところ、競輪事業は売り上げが著しく減少し、現在は組合自体も赤字経営となり、平成7年度以降、市への利益金の配分はないとの説明がありました。

さらに、赤字ということから、逆に自治体を経費が負担することにならないかと質疑に対して、現段階においては組合内部に基金を持っており、それにより経営しているとの説明がありました。

次に、国民健康保険特別会計であります。7年度における国保税の徴収率について説明を求めましたところ、一般被保険者現年課税分 89.37%、滞納繰り越し分 16.82%、退職被保険者現年課税分 98.35%、滞納繰り越し分 14.38%、国保税総体で 90.63%であるとの説明がありましたが、税負担が非常に厳しくなっている中で、老人保健会計を含めて、市民の医療に対する認識を高めるための啓蒙活動を積極的に行うよう要望いたしました。

次に、水道事業特別会計であります。南房総広域水道からの通水により、未給水地域の解消が図られたことは喜ばしいが、今後さらに料金の一元化について県に要望されたいとの意見がありました。

次に、国民宿舎事業特別会計であります。鳩山荘の今後の経営方針について、経営合理化検討部会を庁内で組織し、運営方法等多方面にわたり検討しているとの説明がありましたが、将来に向け、合理的な措置をとられるよう要望するとの意見がありました。

次に、ユースホステル特別会計であります。施設の老朽化、利用者の減等から、今後の運営

について県と協議しているとの説明がありました。

次に、討論を行い、財政が非常に厳しい状況の中において、限られた予算の配分について相当配慮がされたものと認識できる。今後の予算執行に当たっては、さらに経費の節減、合理化に努め、効率的な行政運営をされるよう要望し、賛成するとの意見がありました。

以上が質疑応答等の概要であります。

採決の結果、付託を受けました議案第1号乃至議案第8号の各会計予算については、全員一致をもってそれぞれ原案どおり可決すべきものと決しました。

以上、本特別委員会における審査の概要につきまして御報告申し上げまして、予算審査特別委員会委員長報告を終わります。

◎議長（山中金治郎君） 以上で委員長の報告を終わります。

質 疑 応 答

◎議長（山中金治郎君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終わります。

討 論

◎議長（山中金治郎君） これより討論を行います。

通告がありますので、発言を許します。

20番議員神田守隆さん。御登壇願います。

（20番議員神田守隆君登壇）

◎20番（神田守隆君） 議案第1号平成9年度館山市一般会計予算、議案第2号平成9年度館山市国民健康保険特別会計予算、議案第7号平成9年度館山市水道事業特別会計予算にそれぞれ反対の討論を行います。

一般会計における消費税増税の公共料金への転嫁に反対いたします。この4月から始まる新年度では、消費税増税で5兆円、特別減税の廃止で2兆円、医療の改悪で2兆円と、合計で9兆円という国民負担増となりますが、これは国民1人当たり約7万5,000円、4人家族で30万円にもなる負担増であります。この史上最悪の負担増のもとで、市民生活に深刻な悪影響が懸念されるところであります。

もともと、さきの総選挙でも、当選した議員の過半数が消費税増税に反対あるいは凍結などを国民に公約していたところであり、消費税増税は国民の承認を得たものではありません。本議会においても、市民の意向、意見をもとに、昨年9月議会で消費税増税反対の意見書を全会一致で決議したところであります。

ところが、本議会のこの意見書決議の趣旨を無視し、本予算案においては市の各種公共料金に消費税増税分の引き上げを行っていますが、質疑の中で明らかになりましたが、これによる増収分はわずか 140万円ほどにすぎず、あえて実施しなければならない緊急性は何らありません。あるのは、消費税増税を国民に強要しようとする国の意向に沿って消費税増税を是認し、これに追随するばかりか、自治省の指導に率先して協力しようとする市長自身の政治姿勢であります。一体市長は消費税増税の及ぼす深刻な市民生活への影響をどのように考えているのでありましょうか。消費税増税を是認し、これに率先して公共料金引き上げを図ることは認められません。

次に、N T T株購入損失 4 億余円について。市長は、元収入役に対する責任追及は法的に不可能であるとして断念をいたしました。法的に不可能であるとの判断をしたのは、法的な判断を下す裁判所ではなく、あくまでも市長の判断にすぎません。本当に法的に不可能であるのかどうかは司法の判断にゆだねるべきで、そのため市長のなすべきことは、元収入役に対し賠償命令をすべきでありました。賠償責任の追及は法的に不可能との市長の判断に対して、納得できないとして市民が住民訴訟を起こしたのは当然のことであります。

さて、本予算案では、市民の最も身近である生活道路、排水路整備関係予算が、去年の 6 億 5,000万円から 5 億 2,000万円と、約 1 億 3,000万円も大幅に削減がされました。これは 20%もの減であります。この予算は市民の要望も高く、生活に身近な予算であり、これまではその水準を維持し、年次計画的に生活道路や排水路の整備を行ってきたものであります。駅関係予算など、大型の公共土木工事のために土木関係費全体は増額となっておりますが、そのことはこの生活関連予算の削減の理由にはなりません。事実、昨年 3 月に策定した館山市基本計画では、市民から要望の高い道路、排水整備についても、引き続き道路改良とあわせ積極的に推進するとまでうたっていたのであります。にもかかわらず、20%も大幅に削減をなさいました。この大幅削減は、市民生活の今後に大きな問題を生むことになり、ひいては市と市民との信頼関係までも損ないかねないものであります。

私は、突然浮上したこの大幅削減は、N T T株購入損失を市民へのサービス切り捨てで帳じり合わせしようとするもので、N T T株購入損失の市民へのツケ回しだと断ぜざるを得ません。生活道路や排水路整備のこの予算は、市民の要望が大変高い分野であり、今後補正予算で最大限の努力をし、増額をするよう求めます。

次に、高齢者福祉の強化、充実について御指摘をいたします。館山市の高齢者福祉は、これまでに比較して大幅に充実しつつあるとはいえ、まだ全国的な水準からすると、比較的進んでいるホームヘルパーの利用率でもやっと全国平均の 75%程度にすぎません。引き続き高齢者福祉の充実が市政の最重要課題であります。

本年は、老人保健福祉計画の中間点として、この間に実施してきたさまざまな施策を評価し、

計画の到達点として点検し、また高齢者のニーズのあり方の変化などを踏まえて、市民参加のもとに計画全体を見直しする必要があります。高齢者福祉全体をどう進めていくのか、介護保険法の動向を理由に後回しにすることは、この問題で現在でもおくれた水準の高齢者福祉をさらにおくらせる、後手後手に回ることではありません。本当に市民参加のもとに合意づくりを進めていくことが今大事になっていると考えます。この点を指摘しておきたいと思います。

次に、情報公開条例の制定についてであります。市の各種情報は市民の共有財産であり、これを広く公開するのは当然のことであります。一昨年来、官官接待やカラ出張、カラ雇用など、全国の自治体でこれでもか、これでもかというように不正、腐敗事件が発覚いたしました。これらは各種公文書などの情報公開がその発端になりました。情報公開で悪事が白日のもとになるというわけであります。情報公開条例がいわば自治体における不正や腐敗を暴くてこの役割を果たしたことになるわけであります。

しかし、条例を制定していたすべての自治体で不正が発覚したというわけではありません。むしろ重要な点は、情報公開条例の制定は、常に公文書等が公開を求められ得る状態であるということであり、そのことが不正を事前に抑止する大きな意味を持つことになるということでもあります。

館山市は、残念ながらNTT株購入不正事件がありました。情報公開条例が制定され、常に公文書等が住民から公開を求められるという状態であれば、今回のような不正発生の余地も制約されていたことになっていたはずであります。NTT株購入不正事件を最大の教訓にして、墨塗り公開などとやゆされるような不十分なものではなく、徹底した情報公開条例の制定を求めます。行政の透明性をできるだけ高くすることが不正や腐敗を未然に防止し、真に住民本位の効率的な行政を実現する道であると考えるところであります。

次に、議案第2号平成9年度館山市国民健康保険特別会計予算についてであります。新年度当初予算対比で13%もの大幅増税となっていますが、既に国民健康保険税は今でも大変高く、とても負担し切れません。こんな大増税はとても認められません。国民健康保険税確定の本予算は6月であります。一般会計からの繰入額を増額して増税を抑えるべきであります。特に、国民健康保険の加入者の高齢化率の上限を超えたことによる負担増は加入者の責任ではありません。政治の責任で解決すべきで、当面一般会計からの繰り入れを増額すべきことを強く主張いたします。

次に、議案第7号平成9年度館山市水道事業特別会計予算についてであります。水道料金を約30%と大幅引き上げの予算であります。市民生活の現況から、このような大幅な値上げは認められません。

今回の大幅値上げの元凶は、南房総広域水道に係る財政負担に根本的な問題があります。南房総広域水道は、本来は県営事業として行うべき性質の水道事業であります。県は安房、夷隅の

財政力の弱い17市町村に莫大な財政負担を押しつけました。市長は水道料金は本来県下同一であるべきだと主張なさっていましたが、市長のこうした願いも結局県には届きませんでした。今後の南房総広域水道の財政負担問題を考えましても、ますますコスト高になるなど、深刻になることが懸念されます。改めて広域水道事業の県営化を求める立場で強力に運動することを強く主張いたしまして、私の反対討論といたします。

◎議長（山中金治郎君） 以上で通告者による討論を終わりますが、通告をしない議員で討論ありませんか。―― 討論なしと認めます。よって、討論を終わります。

採 決

◎議長（山中金治郎君） これより採決いたします。

まず、議案第1号及び議案第2号について、一括して起立により採決いたします。

各議案についての委員長の報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに賛成の皆さんの起立を求めます。

（賛成者起立）

◎議長（山中金治郎君） 起立多数であります。よって、各議案は原案どおり可決されました。

次に、議案第3号乃至議案第6号の各議案を一括して採決いたします。

各議案についての委員長の報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（山中金治郎君） 御異議なしと認めます。よって、各議案は原案どおり可決されました。

次に、議案第7号及び議案第8号について、一括して起立により採決いたします。

各議案についての委員長の報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに賛成の皆さんの起立を求めます。

（賛成者起立）

◎議長（山中金治郎君） 起立多数であります。よって、各議案は原案どおり可決されました。

議案の上程

◎議長（山中金治郎君） 日程第7、議案第36号人権擁護委員候補者の推薦についてを議題といたします。

議案の朗読を願います。

（書記朗読）

◎議長（山中金治郎君） 朗読は終わりました。

議案の内容説明

◎議長（山中金治郎君） 議案の説明を求めます。

庄司市長。

（市長庄司 厚君登壇）

◎市長（庄司 厚君） 議案第36号人権擁護委員候補者の推薦について、提案理由を御説明申し上げます。

平成9年3月31日をもって任期満了となります人権擁護委員2名につきまして、人権擁護委員法第6条第3項の規定により候補者の推薦を求められておりますので、引き続き島田牧子さん、田中邦政さんを適任と考え、御推薦申し上げたいと存じます。

御賛同を賜りますようお願い申し上げます。

◎議長（山中金治郎君） 説明は終わりました。

質疑応答

◎議長（山中金治郎君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。――御質疑なしと認めます。よって、質疑を終わります。

委員会付託の省略

◎議長（山中金治郎君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（山中金治郎君） 御異議なしと認めます。よって、本案については委員会の付託を省略することに決しました。

討 論

◎議長（山中金治郎君） これより討論を行います。

討論はありませんか。――討論なしと認めます。よって、討論を終わります。

採 決

◎議長（山中金治郎君） これより採決いたします。

本案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（山中金治郎君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

議案の上程

◎議長（山中金治郎君） 日程第8、発議案第1号地震等自然災害に対する新たな被災者支援措置の創設を求める意見書についてを議題といたします。

議案の朗読は省略いたします。

議案の内容説明

◎議長（山中金治郎君） 議案の説明を求めます。

17番議員岩村さん。

（17番議員岩村勝弘君登壇）

◎17番（岩村勝弘君） 発議案第1号地震等自然災害に対する新たな被災者支援措置の創設を求める意見書について、提案理由を御説明申し上げます。

阪神・淡路大震災を契機といたしまして、被災者の自立復興について、従来予想できなかった多くの問題点があらわれ、自然災害による被災者を救済するための公的支援体制の確立を求める議論が盛んに行われておることは御承知のとおりでございます。

当地域においても地震発生のおそれが指摘されており、今回の震災の記憶がまだ新しい今こそ、国に対し支援措置の創設を求めていく必要があると考え、お手元に配付のとおり、8名の賛成者を得まして本案を提出した次第であります。

皆様方の御賛同を賜りますようお願いいたしまして、提案理由の説明といたします。

◎議長（山中金治郎君） 説明は終わりました。

質疑応答

◎議長（山中金治郎君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終わります。

委員会付託の省略

◎議長（山中金治郎君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略いたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（山中金治郎君） 御異議なしと認めます。よって、委員会の付託を省略することに決しました。

討 論

◎議長（山中金治郎君） これより討論を行います。

討論はありませんか。—— 討論なしと認めます。よって、討論を終わります。

採 決

◎議長（山中金治郎君） これより採決いたします。

本案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（山中金治郎君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

館山市選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙

◎議長（山中金治郎君） 日程第9、館山市選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙を行います。

お諮りいたします。選挙の方法は、地方自治法第118条第2項の規定による指名推選とし、指名の方法は、議長において指名いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（山中金治郎君） 御異議なしと認めます。よって、決定いたしました。

これより指名いたします。

お手元に配付の指名表のとおり、館山市選挙管理委員会委員に金子光男さん、館石 正さん、黒川邦保さん、山井 廣さん、同補充員に安西信雄さん、庄司利光さん、近藤君枝さん、穂積久一さんを指名いたします。

なお、補充員の順位は、第1順位安西さん、第2順位庄司さん、第3順位近藤さん、第4順位穂積さんといたしたいと思います。

お諮りいたします。ただいま議長において指名したとおり、館山市選挙管理委員会委員、同補充員の当選人と定めますことに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（山中金治郎君） 御異議なしと認めます。よって、館山市選挙管理委員会委員に金子光男さん、館石 正さん、黒川邦保さん、山井 廣さん、同補充員に安西信雄さん、庄司利光さん、近藤君枝さん、穂積久一さんがそれぞれ当選されました。

閉 会 午前11時25分

◎議長（山中金治郎君） 以上で本定例会に付議されました案件は議了いたしました。

よって、これにて第1回市議会定例会を閉会いたします。

◎本日の会議に付した事件

- 1 議案第1号乃至議案第36号
- 1 継続審査について（請願第7号）
- 1 発議案第1号
- 1 館山市選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

館山市議会議長

館山市議会議員

館山市議会議員

